

3・11と〇〇

東日本大震災から5年が経とうとしています。この間に数多くの関連資料が出版されました。その多くが地震学や防災学といった専門の枠を超えたものであり、様々な分野の人々がそれぞれの立場で何ができるのかを模索し、今後の方向性を考えさせられたことがうかがえます。今回のミニ展示では、県立図書館が所蔵する関連資料の中からメディア、産業、学問、文化等の様々な分野の人々の行動と思索の記録を紹介します。※書誌情報末尾の(カッコ)内は所蔵館と請求記号

〇ボランティア

災害ボランティア・ブック

週末は東北へ

平凡社編 平凡社 2011 (東部・3693/83)

心のおくりびと

東日本大震災復元納棺師

今西乃子著 金の星社 2011 (中央・J369/1)

思い出をレスキューせよ!“記憶をつなぐ”被災地の紙本・書籍保存修復士

堀米薫文 くもん出版 2014 (中央・J369/14)

一冊の本をあなたに

3・11絵本プロジェクトいわての物語

歌代幸子著 現代企画室 2013 (中央・36931/221)

私は、あなたを忘れない

聞き書き:学生たちが記録した東日本大震災

麗澤大学聞き書きサークル編
麗澤大学出版会 2012 (中央・C3693/140)

負けんな、ヤルキキャンプ

光安純著 角川書店 2011 (東部・916/シ 3)

人を助けるすごい仕組み

西條剛央著 ダイアモンド社 2012 (東部・36931/182)

〇メディア

Googleの72時間

東日本大震災と情報、インターネット

林信行著 山路達也著 角川書店 2013 (東部・00735/104)

IT時代の震災と核被害

コンピューターテクノロジー編集部編
インプレスジャパン 2011 (東部・0073/215)

再び、立ち上がる!

河北新報社、東日本大震災の記録

河北新報社編集局著 筑摩書房 2012 (東部・36931/177)

6枚の壁新聞

石巻日日新聞・東日本大震災後7日間の記録

石巻日日新聞社編 角川マガジンズ 2011 (中央・07021/46)

ラジオがつないだ命

FM石巻と東日本大震災

鈴木孝也著 河北新報出版センター 2012 (東部・36931/179)

小さなラジオ局とコミュニティの再生

災害とコミュニティラジオ研究会編
大隅書店 2014 (西部・36931/66)

メディアが震えた

テレビ・ラジオと東日本大震災

丹羽美之編 藤田真文編
東京大学出版会 2013 (中央・69921/34)

〇地域産業

紙つなげ!彼らが本の紙を造っている

再生・日本製紙石巻工場

佐々涼子著 早川書房 2014 (東部・58506/3)

地域を豊かにする働き方 被災地復興から見えてきたこと

関満博著 筑摩書房 2012 (中央・J601/セ)

小さな“まち”の未来を映す「南三陸モデル」

新評論 2014 (中央・60112/6/5)

東日本大震災と中小企業

日本政策金融公庫総合研究所著
文一総合出版 2014 (西部・33535/52)

福島に農林漁業をとり戻す

濱田武士著 小山良太著 早尻正宏著
みすず書房 2015 (西部・36936/9)

〇まちづくり

われわれは明日どこに住むか

日本建築学会編 彰国社 2011 (西部・5204/143)

被災地を歩きながら考えたこと

五十嵐太郎著 みすず書房 2011 (東部・36931/161)

原発と建築家

竹内昌義編著 学芸出版社 2012 (西部・5204/145)

ここに、建築は、可能か

伊東豊雄[ほか]著 TOTO出版 2013 (東部・527/185)

3.11以後の建築

社会と建築家の新しい関係

五十嵐太郎編著 山崎亮編著
学芸出版社 2014 (西部・5204/157)

食と農でつなぐ 福島から

塩谷弘康著 岩崎由美子著
岩波書店 2014 (中央・61212/4)

みんなで決めた「安心」のかたち

ポスト3.11の「地産地消」をさがした柏の一年

五十嵐泰正著 「安全・安心の柏産柏消」円卓会議著
亜紀書房 2012 (西部・C6114/11)

〇医療

東日本大震災石巻災害医療の全記録

「最大被災地」を医療崩壊から救った医師の7カ月

石井正著 講談社 2012 (東部・49889/10)

南相馬10日間の救命医療 津波・原発災害と闘った医師の記録

太田圭祐著 時事通信出版局 2011 (西部・49889/13)

泥だらけのカルテ 家族のもとに遺体を帰し つづける歯科医が見たものは?

柳原三佳著 講談社 2014 (中央・J498/セ)

検証3・11災害医療

誰が大規模災害から命を守るのか

小針かなえ著 竹書房 2015 (西部・49889/29)

○学校・教育

学校を災害が襲うとき 教師たちの3.11 田端健人著 春秋社 2012（東部・37212/3）
ふくしまの子どもたちが描く あのととき、きょう、みらい。 蟹江杏編集 佐藤史生編 徳間書店 2011（中央・7267/8）
だけど、くじけない 子どもたちからの元気便 長倉洋海と東北の子どもたち著 NHK出版 2012（中央・J369/㍿）
東日本大震災と学校教育 震災は学校をどのように変えるのか 日本学校教育学会「東日本大震災と学校教育」調査研究プロジェクト編 かもがわ出版 2012（東部・3704/267）

○学問

津波の後の第一講 今福龍太編 鶴飼哲編 岩波書店 2012（東部・041/74）
ポスト3・11変わる学問 気鋭大学人からの警鐘 佐藤文隆[ほか]著 河合塾編 朝日新聞出版 2012（東部・002/67）
大震災のなかで 私たちは何をすべきか 内橋克人編集 岩波書店 2011（中央・36931/150）
震災後に読む文学 堀内正規編集 早稲田大学出版部 2013（東部・904/291）
3・11後の思想家25 大澤真幸編著 左右社 2012（東部・1028/5）
震災考 2011.3-2014.2 赤坂憲雄著 藤原書店 2014（東部・36931/239）
原発災害とアカデミズム 福島大学原発災害支援フォーラム著 東京大学原発災害支援フォーラム著 合同出版 2013（西部・5435/81）
震災後に考える 東日本大震災と向きあう92の分析と提言 早稲田大学・震災復興研究論集編集委員会編 鎌田薫監修 早稲田大学出版部 2015（中央・36931/271）

○文化

それでも三月は、また 谷川俊太郎[ほか]著 多和田葉子著 講談社 2012（東部・9186/64）
震災と言葉 佐伯一麦著 岩波書店 2012（東部・36931/218）
震災後文学論 あたらしい日本文学のために 木村朗子著 青土社 2013（東部・91026/1411）
3・11の未来 日本・SF・創造力 笠井潔監修 巽孝之監修 小松左京[ほか]著 作品社 2011（東部・9013/71）
シチュエーションズ 「以後」をめぐる 佐々木敦著 文藝春秋 2013（東部・704/221）
震災とアート あのととき、芸術に何ができたのか 倉林靖著 ブックエンド 2013（西部・704/25）
現代日本写真アーカイブ 震災以後の写真表現2011-2013 飯沢耕太郎著 青弓社 2015（東部・74069/3）
福島的美術館で何が起こっていたのか 黒川創編 編集グループSURE2012（中央・7069/83）
被災地の博物館に聞く 東日本大震災と歴史・文化資料 国立歴史民俗博物館編 吉川弘文館 2012（中央・0694/10）
文化面から捉えた東日本大震災の教訓 木下達文著 かもがわ出版 2015（中央・06902/32）

■何が起こったのか

鎮魂と再生 東日本大震災・東北からの声100 赤坂憲雄編 藤原書店 2012（中央・36931/183）
THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶 石川梵著 飛鳥新社 2011（東部・36931/138）
FUKUSHIMAレポート 原発事故の本質 FUKUSHIMAプロジェクト委員会著 日経BPコンサルティング 2012（東部・5435/91）
前へ！ 東日本大震災と戦った無名戦士たちの記録 麻生幾著 新潮社 2014（中央・36931/240）
巨大津波は生態系をどう変えたか 生きものたちの東日本大震災 永幡嘉之著 講談社 2012（中央・46212/2）

東日本大震災関連資料ご寄贈のお願い

県立図書館では、東日本大震災の千葉県に関連する資料を収集しています。収集した資料の整理、永年保存を進め、広く利用に供することで、災害の記憶を共有し、災害復興や防災対策に役立てていきたいと考えています。次のような資料を発行されましたら、図書館にご寄贈ください。

- ・震災関連の記録集、写真集など
- ・震災に関する調査報告書・復興に関する計画書
- ・個人・団体が作成した体験記・文集など
- ・各種の活動記録など
- ・震災に関わる内容のフリーペーパーなど

詳しくは千葉県立図書館ホームページ内「東日本大震災千葉県関連サイト」をご覧ください。